

| No. | 実施大学 | 授業科目名 | 担当教員 | 単位数 | 開講区分 | 曜日 | 予定回数 | 時間 | 実施場所 | 定員 |
|-----|------------|----------|----------------|-----|------|----|------|-------------|------------|----------|
| 43 | 山野美容芸術短期大学 | 日本文化(華道) | 松崎 美瞳 非常勤講師 | 1 | 後期 | 木 | 15 | 14:40～16:10 | 山野美容芸術短期大学 | 若干名 ※ |

※女子学生に限る

【到達目標】

一般教養としての日本の華道史、及び生活芸術としての華道を学び、その華道の精神と技術の習得を通して美意識を高めることができる。それと共に、自然との共生を大切にする華道精神を理解することで、人間同士の共生を改めて考え、コミュニケーション能力やホスピタリティー精神の必要性を実感できるようになる。

【授業の概要】

人間と自然に於ける共存の正しい在り方を華道という造形芸術で学び、それを再構築することにより日本の伝統文化を継承する。

【授業内容】

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 花寄せ 2. 花芸作品を制作するにあたってのプロセスの大切さを学ぶ 3. その季節の行事に合わせ、歴史や文化を学び、花芸作品を制作する 4. 花芸作品を制作するために必要な構成図を理解する 5. 花材の自然な姿を尊重し作品を生けることを学ぶ 6. 花芸作品の美的バランスを学ぶ 7. 安達流の構成三原則の一つ、〈五態〉を学ぶ 8. 安達流の構成三原則の一つ、〈文法〉を学ぶ | <ol style="list-style-type: none"> 9. 花道史と花ばさみの扱いを学ぶ 10. 植物の生態について学ぶ 11. 文法の授業で学んだ〈主要三格〉の力関係の比率を学ぶ 12. 花材と花器のバランスを学ぶ 13. 安達流の構成三原則の一つ、〈原型〉を学ぶ 14. 複数人で花芸作品を制作する〈連花の演習〉 15. 授業の総復習と花束制作 |
|--|---|

【成績評価方法】

平常点 20%、毎回の課題点 30%、試験 50% 総合して評価する。

【教科書】

花芸 安達流 演習ノート「水」、補足のプリント配布

【参考書、教材等】

花芸安達流安達瞳子著書全書

※ この授業は、9/24(木)が初回です。